

# おお大勝利

平成 24 年度山東サッカー一部報第 3 号 (4 月 24 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

## そして東海にも敗れる

4 月 21 日 (土) 18 歳以下の山形県リーグ 1 部 (通称 Y 1) の第 2 節が山形商業、山形中央の両高校のグラウンドにて行われました。山形東は山商グラウンドにて東海大山形と対戦。東海大山形は、前号でも書いたように、A チームから B チーム、そして C、D チームも技巧派が揃う層の厚いチーム。今野の見立てでは、層の厚さは羽黒をも凌ぐ。A チームは昨年 2 年生主体のチームながら選手権決勝に進み、そのメンバーがごっそり残っている。間違いなく Y 1 の優勝候補の一つ。**しかも、選手はいずれも品行方正!** うまい (強い) がマナーの悪いチームと異なり、サッカーを通して人間教育を行おうとする顧問の考えがよく表れているチーム。監督はオリンピック代表の関塚監督を思わせる風貌の、指導者としても人間として器の大きな I 先生、もう一人の顧問は前号の部報にて新しいサッカー用語で他の顧問を驚かせると紹介された M 川先生<sup>1</sup>。

さて、波に乗れずにいる山形東としては厳しい戦いが予想されますが、個々の選手の守備力がしっかりしてもいないのに守備的にいったところでうまくいかないのは、今年の選手権の結果が示している。苦しい時間が多いだろうが、しっかり耐え続ければ必ずチャンスは巡ってくる。変に引かずに前から嵌めていけ、というような、毎度のことながらあまり戦術的でない指示をして、選手をピッチに送り出しました。**ベンチには今シーズン初めて清野 OB 会長が鎮座**され、新 1 年生が初めて応援席に連なったこの試合に花を添える。今節の応援団長は**チクテツ**から団長を受け継いだ**サチク**<sup>2</sup>。前節、今節とも、入場において校歌を歌ってくれるあたり、チクテ

<sup>1</sup> ちなみに、山形東高サッカー OB 会 HP 管理者の我らが「報道局長」殿は、HP にリンクも貼られている大好評ブログ集「捏ねたコネタ」にて、前号にて M 川先生の新語として紹介されたトオボラの別の解釈に触れられておりますので、それもお覧になってみて下さい。ただ、恐らく M 川先生と思われる方から訂正のメールがあり、**トオボラではなくオクボラ** (手前ではなく奥のボランチ) であるとのこと。私も「軍門に下る」と否定的に捉えるのではなく、オクボラ普及のため、これから頑張って使っていきます! ちなみに、言葉の普及ということに関して、M 川先生と何気ない夜の席にて「最近の高校生、『ツカス (格好をつける⇒格好をつかす⇒つかす)』って言わないね〜」、「代わりに彼らは『調子に乗る、調子こく』を使用しているかも」と話になったことがあります。そして、ツカス復活のため、二人で一生懸命「ツカスな」などツカスを使い続けよう、と誓い合ったことがあります。M 川先生はしばしば使われているようですが、私は肝心な場面では忘れてしまい、全然使用していないので、今後こちらもがんばって使っていきます!!

<sup>2</sup> 今野の高校の時の恩師が年賀状に、「私の親戚の〇〇君 (先生! 漢字違いますよ!!) は頑張っていますか?」と書いてきたのですが、その〇〇君のあだ名がサチクとなります。ので、以後お見知り

ツもサチクも「分かっている」。今節は**3年生全員（インフルエンザ1名を除く）がエントリメンバー20名に連ね**、ベンチにても3年生の総力を挙げて勝利に向かいたい。さあ、キックオフ。

苦しい時間が多いと誰もが予想していましたが、試合の入りは山東決して悪くない。確かに、ボールを奪い切れず、そしてクリアをしっかりと前方にフィードできず、簡単にすぐ横の外または後ろ側に出してしまい、深い位置（山東ゴールに近い位置）でスローインやCKを与える。これは前節と同様。ただ、丁寧なパスをつなぐイメージの東海ではありましたが、試合前から予想されていたように、ピッチは硬い土でボールがなかなか収まらない（ボールの弾みを抑えられない）ことから、浮き球を体と体のぶつかり合いで奪い合う「泥試合」の時間が多い。そうなれば、**技術で劣るのを粘りで何とかするしかない山形東にはもってこい！** また、トップ下のゴメを警戒してか、東海ダブルボランチの位置が低いため、東海の強力ツートップが孤立気味<sup>3</sup>。前半、予想以上に山東が押し込む時間が多い。**しかし、好事魔多し！！** 前節同様、35分過ぎくらいに中途半端なクリアを拾われて分厚く攻められ、ゴール前のゴチャゴチャから豪快ボレーを許し、失点。そしてそのまま前半終了。

「悪くない前半だったけどな～」ともったいない気持ちになり選手を出迎えました。が、**冷静になって考えれば、押し込んでいるような時間にも、東海ディフェンスを崩した、または東海DFの裏を取ったというシーンは少なく、決定的な場面は作れていない**。何となくボールを保持しているが全然ゴール前に近づけない、ジーコジャパン（もう古いか）の時の日本代表のような前半であったことに気づく。ハーフタイムでは、よく戦っているが決定的なシーンは作れていない、後半こそそういうシーンを作りたい、具体的には左右のアウトサイドのMFがもっと縦に仕掛けるプレーを心掛け外から崩したい、などと確認して選手を後半に送り出す。

後半も、粘り強く戦うという面ではチームの特色を出すことができたと思うし、一体感をもって戦うという面ではこのチームの課題を克服しつつあることが分かりうれしく思いましたが、攻撃は前半より良かったとは言えない内容。最後まで、東海CDFを崩し切れなかった印象。また、後半残り35分過ぎくらいからは徐々に危ないシーンを作られ、実力差通り後半はしてやられました。ただ、1年ボランチの**クリロン**はスピード・パワーで勝る相手選手を翻弄するようなプレーの数々で、だんだんユース年代にフィットしてきたことを実感。また、FWから今期左サイドバックにコンバートされた**ユータロー**は、守備・攻撃でも積極的なプレーを見せ、これまたポジションにフィットしてきたことを実感。そして、昨年夏の苗場遠征では現3年生の中で唯一Bチームで出場という過去をもつ**ハマジ**がCDFで先発出場し（攻撃・フィードの面ではかなり課題を残しましたが）守備の面ではそつなくこなして合格点の出来。良い面、悪い面ありましたが、**結局0-1のままタイムアップ**。ピッチとのミスマッチがあり東海の出来は今回良かったとは言えないでしょうが、

---

おきを、先生！

<sup>3</sup> または、ボランチとFWの距離が通常よりも離れているため、ボールが収まらないピッチということもあり、ボランチが焦ってFWへのアバウトなロングボールを多用したとも言えるかもしれません。

結果をしっかりと残すあたりは流石の一言。山東としては、最後の 10 分間に失点する、しかもクリアが短くなりゴール前で混戦になるシーンで失点するという同じ悪い流れ<sup>4</sup>は、本当に何とかしたいと感じた今回の敗戦となりました<sup>5</sup>。

これでリーグ戦 2 連敗。3 年生がいるうちに勝ち点を稼いでおきたい山形東としては、苦しい流れとなりますが、弱音を吐いている場合ではありません。次節も熱い戦いをすべく頑張りますので、ご声援よろしくお祈いします。

**4月30日(月) Y1第3節 VS 鶴岡工業 13:00キックオフ@鶴岡工業**

## 新入部員 マネ1名を含む16名となる

4月19日(木)一斉部会が開かれ、各部の新入部員が正式に決定いたしました。サッカー部への新入部員は、毎年そうですが、サッカー経験者がほとんどでサッカー部への入部にためらいのない生徒がほとんど。なので今年もマネージャー以外、全く勧誘活動をせず、ここまできました<sup>6</sup>。マネージャーの入部だけ危ぶまれましたが、何とか1名確保し、選手15名、マネージャー1名、総勢16名の新入部員を得ました。3学年合わせると総勢50名の運動部最大の規模を誇ることに。そして、4月28日(土)に開かれる保護者会主催の「新入生歓迎会・県総体激励会」では、**保護者の方の出席が部員数を上回る60名越え!!** なんと賑やかな会となりそうです。

保護者の皆さま、よろしくお祈いいたします。

## 部報「おお大勝利」について

今年度早くも第三号となりますこの部報「おお大勝利」。報道局長の協力を得て、HPにUPするようになり、さまざまな方から激励を頂戴する機会に恵まれ、何年か前から調子に乗って(この場合ツカシテは適切な表現ではないですね)発行回数が増え、現在に至っております。当初(平成18年度第1号~4号)、山形中学・山形東高校不動の応援歌「おお勝利」にちなみ、その名を戴いた部報名で発行されていましたが、伝統的に応援団幹部会<sup>7</sup>発行の会報名が「おお勝利」であったこ

<sup>4</sup> 前節では、前半残り10分くらいで失点し、後半残り10分くらいで追加点を喫しています。

<sup>5</sup> 県総体は、45分ハーフの県リーグと異なり、35分ハーフなので、残り10分で崩れる心配はない、と解釈することもできますが、最終盤に集中等が切れると考えれば35分ハーフでも同じことになるような気がします。

<sup>6</sup> それもこれも、小学校や中学校でのサッカー人口の多さのおかげです。

<sup>7</sup> 応援団幹部会というと、生徒がやっている応援団のさらに上の組織とイメージされる方もいらっし

とから、応援団幹部会から別な名前を使って頂きたいと柔らかく諭され、であればと、平成 18 年度第 5 号から「おお勝利」に「大」を挿入し、現在に至っています<sup>8</sup>。

## 困っています

B 4 用紙 2 枚での発行となり、紙幅に余裕がありますので、こんなことも書かせてもらいます。

先週頭から（火曜には確認）、山形東高サッカーOB会HPが学校のパソコンからアクセスできなくなっております。家のパソコンやスマホ（今野は未使用ではあるが）などからはアクセスできるので、県のサーバーを通す職場のパソコンからはアクセスできない、すなわち何らかの理由で県のサーバーから「アクセス不适当」とみなされ弾かれている模様。その状況が改善されず 1 週間続いております。他校サッカー部のHPやブログは見る事ができるのに、なぜ山形東のは見れないんだ！ 誰の陰謀だ！！ と憤慨しております。報道局長も東海戦でお会いした時、「HPのエログロサイト問題どうなった？」と気になっている模様。山形東高サッカーOB会HPがエログロサイトに指定されたわけではないのですが、こんなにも高校生の活動を**健全に**支援しているHPが、「不适当」の烙印を押されるとは、何たることか！！ あれにもこれにも、業務に不要な他の情報にはかなりアクセスできるというのに・・・。

何らかの理由で（恐らく自動的に）弾かれているのですが、部活動業務に大変支障があり、困っております<sup>9</sup>。これをご覧になっている方のなかで、解決法をご存知の方（特に県庁職員の方）は、ぜひ解決に向け力を貸して下さい。お願いします。

---

やるかと思いますが、山形東高校は「生徒全員が応援団員であり、いわゆる応援団は応援団幹部にすぎない」という建前を伝統としております。よって、幹部会発行の会報とは、応援団幹部から一般生徒に配られるものです。

<sup>8</sup> まだHPに部報をUPしていなかった時期となります。

<sup>9</sup> この部報を作成するに当たっても、記憶が定かではないときなど、逐一確認しております。